

広報 かるまい10

平成23年（2011年） No.631

今月の主な内容

特集

災害から命を守る…2～9

かるまい秋まつり…12～13

9月17日から19日にかけて開催された伝統の秋まつり。時折雨が降る天候だったものの、それを吹き飛ばす元気な掛け声や太鼓、笛の音が響き渡りました。子どもたちのかわいい笑顔もたくさん輝いた3日間でした。（12～13ページに関連記事）

↓ 9月21日に瀬月内川が氾濫し、道路が寸断された下晴山貝喰線



特集 災害から命を守る

新年早々の大雪
東日本大震災：そして余震
災害が多く発生している今年
町は3度の停電に見舞われている

そして9月

近畿地方では
総雨量1000ミリを超える

豪雨で70人以上が犠牲に
21日には台風15号によって
町では約30世帯が避難し
また、住家11棟を含む
16棟が床上・床下浸水の被害に

これまでの想定を上回る災害が
全国各地で起きている今

災害の被害を最小限に抑えるのは
町民の皆さんの備えと行動力

一人ひとりが災害に備え
地域が一つになって協力し
災害から尊い命を守りましょう



Chapter 1

大雨の被害

近年、全国各地で想定外の災害が発生しています。そんななか9月21日に台風15号が町を襲いました。秋雨前線の影響もあり、17日から22日にかけて230ミリの雨を記録。床上・床下浸水や土砂崩れ、道路の崩壊など多くの被害が発生しました。今回の大雨災害による被害状況などを振り返ります。

総雨量230ミリ 大清水に避難勧告

秋雨前線の停滞と台風15号の北上に伴い、町では9月17日から断続的に雨が降り、22日までに総雨



床上浸水6棟、床下浸水4棟の被害が出た尾田地区（写真は9月22日午前6時、上尾田地区の上尾田橋から撮影）



増水した雪谷川（9月21日、午後10時30分）

台風15号による被害

（10月5日現在）

- 総雨量
230^ミ（9/17～9/22）
- 建物被害（非住家含む）
 - ・床上浸水7棟
 - ・床下浸水9棟
- 河川、道路被害
 - ・災害復旧事業申請分（河川19カ所 道路13カ所）
 - ・町単独事業分（小災害）（河川6カ所、道路42カ所）
- 農地農業用施設被害
 - ・農地 20カ所
 - ・農業用施設 29カ所



9月22日朝の大清水地区（右側に見えるハウスや小屋の手前が道路）

近畿では千ミ超え 軽米の水害の6倍

全国各地で被害を出した台風15号ですが、9月はじめには台風12号が猛威をふるい、紀伊半島などで死者・行方不明者90人を超す大きな被害を出しました。総雨量1400ミリを超えた所もあるなど12年前の豪雨災害とは比べ物にならないほどの雨が襲いました。

もしも軽米をこのような豪雨が襲ったら、皆さんはどのような行動をとりますか？ また、豪雨だけではなく大きな地震などが発生する可能性もあります。災害はいつどこで発生するのかわかりません。今一度災害への備えについて考えていきましょう。



【非常持出品】

- 携帯ラジオ
- 懐中電灯
- 非常食
- 飲料水
- ろうそく
- ライター、マッチ
- ティッシュペーパー
- タオル
- ビニール袋
- ビニールシート
- 着替え
- 生理用品
- 軍手
- カップ
- 救急セット
- 常備薬
- 現金、貴重品

【非常備蓄品】

- 食品（缶詰、インスタント食品など）
- 水
- 卓上コンロ
- やかん
- 燃料
- ラップ・アルミホイル
- 紙皿、紙コップなど
- 毛布、寝袋
- 使い捨てカイロ
- ウェットティッシュ
- 洗面用具
- バケツ
- 簡易トイレ
- 工具類
- 自転車

転倒防止器具



地震の際に家具の転倒を防ぐ転倒防止器具があります。写真右のL字金具や壁を傷つけないボール型（左）、家具の下に敷く滑り止めシートなど種類はさまざまです。併用するなどして地震に備えましょう。

指定避難場所はこちらです！

災害が発生した場合や発生する恐れがある場合、町では次の施設を指定避難場所として指定しています。緊急時は次の地区割に限らず近くの避難場所に避難してください。

◎軽米地区 軽米高校第1・第2体育館 柔剣道場 軽米中学校屋内運動場 軽米小学校屋内運動場 軽米町民体育館 農村勤労福祉センター 青少年ホーム 軽米中央公民館 老人福祉センター 上館農業構造改善センター 長倉生活改善センター 高家生活改善センター 円子生活改善センター	◎小軽米地区 小軽米中学校屋内運動場 小軽米小学校屋内運動場 米田農業構造改善センター 小玉川生活改善センター 増子内農村振興会館	◎晴山地区 晴山農業構造改善センター 晴山中学校屋内運動場 山内農業構造改善センター	◎笹渡地区 笹渡農業構造改善センター 笹渡小中学校屋内運動場
--	---	--	---

※避難所への移動が困難な場合は無理に移動せず近くの集会所などに避難してください

Advice



役場総務課・総務グループ
主事 大村亮憲

告知放送端末の電池を確認しましょう

皆さんの家庭に取り付けられた告知放送端末（写真）の運用が始まっています。この機械は、災害によって停電となった時でも町からのお知らせを聞くことができます。災害や停電に備え忘れずに電池を入れ、定期的に交換するようにお願いします。避難場所や持出品ともに告知放送端末の電池のチェックもお願いします。

地震に対する備えとして「家具などに転倒予防対策をしていますか？」という質問に対しては80%の人が「していない」という回答でした。地震は、いつ、どこで、どのような規模で発生するかわかりません。自分が寝ている脇に大きな重いタンスはありませんか？もしもそのタンスが倒れてきたら、自分の身を守るためにも、転倒防止器具を取り付け、また家具の配置を考え直してみましょう。

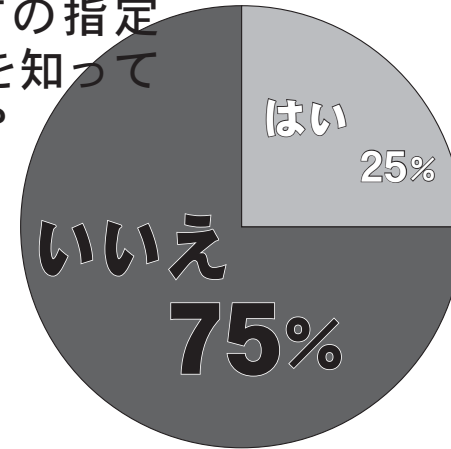
災害の際は「自分の身は自分で守る」ということが基本です。自分の命を守らなければ家族も周りの人も助けることができません。日ごろから、このことをみんなを理解し、災害への備えを進めていきましょう。

Chapter 2

自分の身は自分で守る

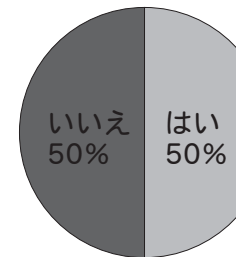
-町民の皆さんの備えを検証-

【問1】町の指定避難場所を知っていますか？



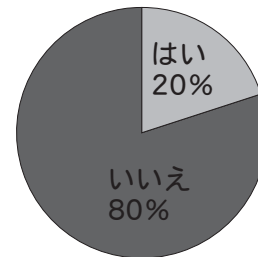
【内容】
・町中心部以外の人たちから、「知らない」という回答が多かった。
・「近くに公民館があるのに決められた避難場所まで行くのは遠くて大変」という意見もあった
【対処法】
町の指定避難場所は次ページのとおり。しかし、危険をおかしてまで行くことはせず、緊急時は地域の集会所などに避難しましょう

【問2】非常持出品や備蓄品を用意していますか？



【内容】
・現金など大事なものはまとめているという意見が多かった。
・大震災後に電灯を購入した人が多かった。
【対処法】
次ページのリストを確認し、少しずつでも備えていきましょう。

【問3】家具などに転倒予防対策はしていますか？



【内容】
・対策方法は「家具と天井の間につっぱり棒」、「家具の下に滑り止めシート」というもの。
【対処法】
耐震補強の方法は次ページのとおり。併用すると効果が高い。家の耐震機能も確認しましょう。（9頁に関連記事）

町民の皆さんの災害への備えについて、9月27日に街角アンケート調査を実施し40人の方から回答をもらいました。

まずは「町の指定避難場所を知っていますか？」という質問。75%の人が「知らない」という回答でした。現在町では、22カ所を避難所に指定しています。基本的には近くの指定避難所に避難することになりますが、道路状況や危険箇所を通らなければいけない場合は別な避難所、または地域の集会所などに避難してください。

「非常持出品や非常備蓄品を用意していますか？」という質問に対しては、どちらかでも用意している人が半分。食料や水なども用意しているという人がいる一方、全く用意していない人が半数に上りました。今年初めの大雪や大震災による停電を受け、電灯だけは用意しているという人が多くいましたが、すぐに外に持ち出せるように用意している人はまだ半分という結果になりました。3月の大震災では、食料やトイレットペーパーなどの日用品、ガソリンなどが不足しました。今年ももうすぐ冬の季節が訪れます。もしもの時のために、左のチェックリストを参考に用意しておきましょう。



9月18日、午前6時の訓練用サイレンに始まった町消防演習は、軽米中グラウンドを主会場に行われ、町消防団（山館松五郎団長と町婦人消防協力隊連絡協議会（工藤郁子会長）合わせて約450人が参加しました。

新しい作業服で臨んだ今年の演習。挙行に際し、東日本大震災の犠牲者や消防殉職者への黙祷が小野寺祐治ラッパ長による演奏のもと出席者全員で行われました。消防協力者への町長感謝状贈呈、功労団員の表彰の後、部隊訓練や小玉川少年消防クラブ員による消防団員向けのミニポンプ操法演技も行われました。婦人消防協力

日ごろの訓練の成果を披露

隊による初期消火訓練では、松浦ちか子米田地区婦人消防協力隊長の指揮のもと迅速な消火活動が披露されました。

団員たちは町中心部を堂々と分列行進し、仲町裏手の雪谷川河川敷で放水訓練を実施。二戸消防署のはしご車による放水や町の消防自動車全27台による一斉放水に、沿道に集まった観客からは拍手と歓声が上がっていました。

閉会式で山館団長は「消防団と婦人消防協力隊とが協力し、災害に強い町を目指していききたい」と力強く答辞。団員らは日ごろの成果を披露するとともに防災への意識を新たにっていました。

- ①朝6時のサイレンとともに集合場所の軽米中学校へと駆けつけます
- ②人員・姿勢・服装点検に厳正な態度で臨む団員たち
- ③消火器を使った初期消火訓練を披露した婦人消防協力隊
- ④小玉川少年消防クラブが見事なミニポンプ操法を披露
- ⑤雨のなか、山館松五郎団長を先頭に堂々の分列行進が行われました



消防団とは

消防団員は、特別職（非常勤）の地方公務員です。

■入団資格

- ・町内に在住または勤務する満18歳以上の方
- ・防災活動への熱意があり、健康である方

■消防団員の処遇

- ・階級に応じて年額報酬が支給されます
- ・火災や警戒、演習訓練などの職務に従事したときは、出勤手当が支給されます
- ・公務災害補償：公務により負傷または病気をした場合は、町がその損害を補償します
- ・退職報奨金：一定期間以上勤務し退団した場合は、退職報奨金が支給されます

【問い合わせ】役場総務課（☎46-2111）、地元消防団

あなたの力が必要です！ぜひ消防団に入団を！

町消防団
山館松五郎団長



地域の現状や危険区域などを知り、日ごろから訓練を重ねる消防団。今回の大雨災害でも各地区の消防団が出動し、被害を防ぐために地域を駆け回りました。床上・床下浸水の被害が大きかった尾田地区を担当する第7分団、避難勧告の出た大清水地区を担当する第8分団の各分団長の声と、9月18日に開催された消防演習の様子をレポートし、改めて消防団の活動を紹介します。



「被害を防ぐには早めの対応」

「わざわざ危険をおかさないよう」

田代泰分団長率いる第8分団では、各部の部長に連絡をとって、21日午後から見回りを開始しました。洪水による冠水危険区域や被害の状況を対策本部に報告。洪水により住宅などへの浸水が想定され避難勧告が出された午後7時、役場の職員とともに大清水地区の全世帯に避難を呼びかけて歩きまわりました。避難後、瀬月内川はさらに増水。大清水地区の道路は冠水し、小屋などへ浸水。田代分団長は「5年前の大雨の際は、避難を呼びかけてもなかなか動いてくれなかった。今回は全国で災害が起きていることもあってか、すぐにみんな避難してくれた。よかった」と安堵の表情。しかし「大雨の際に川を見に行く人がいるが、それだけは絶対にやめてほしい。気になるのは分かるが、わざわざ危険をおかさないように」と警鐘を鳴らします。



第8分団長
田代泰さん
(約63歳)

地域で備えよう

想定外の災害時 地域力が命を救う

災害が起きた際に、町で公的にサポートできる人は、消防団や消防署、警察、役場など約500人です。本年8月末現在の町の人口は1万509人。今までにないような大きな災害が起きた時、この500人で町内の全ての人の命を守るができるでしょうか？

想定外の災害が起きたとき、消防関係機関や行政は最善を尽くしますが、通常通りに機能できるとは限りません。東日本大震災では行政機関が被災した市町村もあります。また、土砂崩れや道路の崩壊などで集落が孤立することも考えられます。一刻を争う事態では、町民一人ひとりが自主的に行動することが必要です。しかし、自分の命は自分で守るとはいえ、個人の力には限界があります。そこで力を発揮するのが地域の力です。地域が一つになることで、被害をくい止め、命を守ることができる場合もあります。

地域で取り組もう 自主防災組織

皆さんは「自主防災組織」とい

う言葉を聞いたことがありますか？ 自主防災組織とは、地域住民などで防災に取り組む団体のことを言います。

隣の二戸市には現在、町内会などで作る自主防災組織が15あります。また、部落会の中に自主防災部を設置し活動を始めた上里部落会という組織もあります。（右ページ参照）このように、今ある町内会や行政区のなかに、災害に対応する部を作ることも有効です。町では、町内会や行政区での活動を支援する「町地域活動支援事業費補助金制度」があります。地域安全事業として、防災に関する

二戸市上里部落会の取り組みをレポート



ただし 忠 さん

二戸市上里部落会

（写真は8月7日の防災訓練で担架による救助を行う参加者）

今年の2月に自主防災部を設置した二戸市の上里部落会（荒谷一男会長、82世帯）。同会で書記を務める荒谷忠さんにお話を聞きました。

「私たちの地域は男神女神への遊歩道の出入口に位置し、大雨の際などは土砂災害の危険もある所です。自主防災組織を作りたいと思ってもなかなか単独で組織化するのが難しく部落会の中に自主防災部を作ることで話を進めていました。最初はわざわざ部を設置しなくてもいいのでは、という声もありました。しかし部落会総会前の役員会で3年前の岩手・宮城内陸地震のビデオを見たところ、土砂災害にあった

地域が上里と同じような場所でした。『上里でも同じような災害が起こりえる。自主防災部を作るべ』と役員意識も高まり、2月20日の総会で自主防災部が新設されました。

8月3日には初の防災訓練を行いました。多くの人に参加してもらいたいと思い、年に2回の草刈りに合わせて開催。訓練を兼ねて朝から炊き出しを行い草刈りをした人に提供しました。その後はバケツリレーや水消火器による消火訓練、担架を作った搬送訓練などを実施。消防署や消防団の協力を得ながら約120人が参加しました。

災害の際には、消防団の人は部落の中にも可能性がります。これからも訓練を続け、防災マップの作成や心配蘇生法講習などを行い、また組織の充実を図っていききたいです。」

interview

地域のつながりで 災害に備えましょう

二戸消防署軽米分署
太田清行 分署長



阪神淡路大震災の際は、救出された人のうち約90%は、家族や近所の人によって助け出されたもので、消防などに助けられた人はほんのわずかです。災害などの際に一番頼りになるのは地域の人であり、そのような事態に行動するためには日ごろから訓練しておく必要があります。軽米でも行政区や町内会などで、何かしら活動をしていると思います。自主防災組織を作るとなると、なかなか取り掛かりづらい所があるかもしれませんが、今ある組織で防災について取り組むことは可能ではないでしょうか。昔からある地域のつながりを大事にし、災害に備えていきましょう。

ご活用ください①

町地域活動支援事業費補助金

■補助金の交付対象

事業を実施する行政区、町内会

■交付対象事業

- (1) 地域福祉事業 (2) 地域交流事業
- (3) 地域環境美化事業
- (4) 地域緑化事業 (5) 地域安全事業
- (6) その他の事業

■補助対象額

2分の1以内（事業ごとに限度額あり）

※自主防災などへの取り組み（防災に対する啓発、防災訓練の実施、防災組織・計画づくり等の取り組みに係る経費、防災用品の購入経費など）については、事業費の2分の1以内で30万円を限度に補助金が交付されます。

【問い合わせ先】役場総務課

企画グループ（☎46-2111）

ご活用ください②

3,000円で住宅の耐震診断

町では、木造住宅耐震診断を受ける方を支援しています。

■対象となる木造住宅

町内の次の要件を満たす住宅。

- ①昭和56年5月31日以前に着工された建物（建築後増築などを行った住宅は対象外）
- ②平屋建てまたは2階建ての一戸建て住宅
- ③木造軸組工法（在来工法）

■耐震診断の料金

1棟あたりの自己負担3,000円

（料金3万円のうち2万7千円を町が負担）

※耐震診断の結果、判定値が1.0未満だった住宅は、判定値を1.0以上に耐震改修工事について、対象経費の2分の1以内で60万円を限度とする助成制度があります。お気軽にご相談ください。

【問い合わせ先】地域整備課

環境整備グループ（☎46-4741）



式典後には地域包括支援センター職員の指導のもと転倒予防体操も行われました

※22、23ページに敬老会の写真を掲載しています

平成23年度町敬老会 明るく元気に長生きを

平成23年度町敬老会が9月17日に町民体育館で開催され、約350人が出席しました。式典にあたり山本賢一町長は「長い年月にわたり幾多の困難を乗り越え今日の社会の繁栄を築けてきたことに敬意を表します。軽米町に住んでよかったと思っただけのよう努力していきま

す」と祝辞。記念品として米寿(88歳)の方に銀杯、傘寿(80歳)の方に木杯を贈りました。また町社会福祉協議会(菅原昭文会長)からは、傘寿を迎える方に杖が贈られました。

参加者を代表して久保勝治さん(向高家)は「これから毎日、元気で楽しく笑顔あふれる生活を心がけ、健康で長生きするよう努力します」と謝辞を述べました。

式典後には、町地域包括支援センター職員による転倒予防体操や、乙坂しのぶさんなどによる歌謡ショーが行われました。

本年9月30日現在、町の80歳以上の人口は1120人で、100歳以上の方は3人です。(住民基本台帳)

第33回水の作文岩手県コンクールで、小軽米中学校の中島克君(3年)と山下明峰さん(1年)が佳作に入賞しました。



佳作を受賞した中島君(前列左)と山下さん(同右)

9月1日には岩手県北広域振興局二戸保健福祉環境センターの荒谷克己所長らが同校を訪れ、2人へ賞状の伝達を行いました。中島君は「大震災もあり水の大切さを実感しました」と話し、山下さんは「これからも水を大切にしていきたい」と、作文を通して大切な水について理解を深めた様子でした。

水の作文岩手県コンクール 小軽米中の2人が佳作

町商工会が50周年 使命を再認識し 必要とされる組織を目指す



横井内会長から永年勤続従業員などへの表彰が行われました

町商工会(横井内留次郎会長の創立50周年記念式典が

9月28日、町農村環境改善センターで開催され会員ら約80人が出席しました。

式典で横井内会長は「使命を再認識し、必要とされる組織を目指し活動を展開する」とあいさつ。歴代会長や30年以上の永年勤続従業員などへの表彰が行われました。

式典後の記念講演では、県立軽米病院の横島孝雄院長が「商工経営者の健康管理」と題して講演。健診を受けることと、早めの治療の必要性を訴えました。

教育委員長に菅波俊美さん



菅波 俊美さん(桜山、61歳)

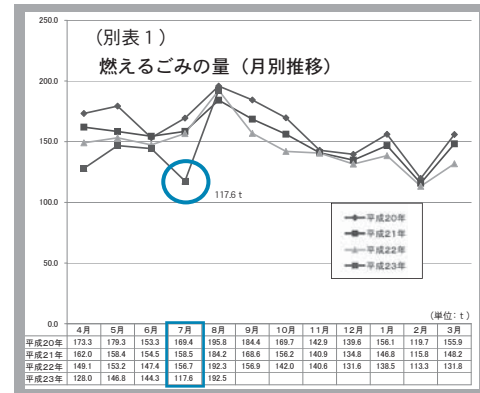
町教育委員会の臨時会が9月26日に開かれ、教育委員長に菅波俊美さんが選出されました。任期は本年9月26日から平成24年9月25日までです。

菅波さんは平成22年から町の教育委員を務め、この度委員長に選任されました。

生ごみ分別収集 実証試験結果

【問い合わせ先】町民生活課
町民生活グループ(☎46-4734)

本年7月に町内いっせいに実施した生ごみの分別収集実証試験の結果が、このほどまとまりました。皆さんには1カ月にわたりご協力いただきありがとうございました。町は、この結果をもとにごみ処理費用の削減や有効活用方法を検討していきます。結果の概要は次のとおりです。



【分析】
実証試験を行った今年7月の燃えるごみの量は、前年の156.7tから117.6tへと減量し、生ごみを除くことにより39.1tものごみの減量効果があるという結果が出ました

減量可能な生ごみ は1日632キロ

実証試験は本年7月4日から7月29日までの4週間に渡り行いました。町民の皆さんから、週1〜2回の燃えるごみ収集日に、配布した「生ごみ専用袋」で生ごみを出してもらう形で実施しました。この結果、生ごみの収集量は合計20日間で12.64t。1日平均632kg、年間(収集日数250日と仮定)約158tの燃えるごみの減量

バランスのいい 肥料になります

また、収集した生ごみは長倉地区の施設で鶏糞と混ぜ、発酵堆肥化処理を行いました。肥料成分としては、窒素・リン酸・カリがバランス良く含まれ、他の畜種の有機肥料と比較しても三要素の成分は

につながると考えられます。実際に本年7月の町の燃えるごみの量は、昨年7月に比べて約25%減りました。(別表1参照)

生ごみの減量で 負担金も減額

私たちの家庭から出されたごみは、町で収集し二戸市にあるクリーンセンターに運ばれ処理されます。処理費用などの同センターの運営費は、二戸地区の各市町村が負担しています。

同センターを管理する二戸地区広域行政事務組合への平成22年度の町の負担金は、6100万円です。この負担金は出されたごみの重さを基に計算され、燃えるごみの処理費の負担金はトン当たり2万3300円となります。今年度、年間158t燃えるごみの量が減るとすれば、町の負担金は約320万円減る計算となります。ごみの量を

(別表2) 発酵鶏糞の分析結果

分析項目	分析結果
水分(%)	24.5
窒素(%)	3.1
リン酸(P2O2.%)	3.7
カリ(K2O.%)	2.1
亜鉛(mg/kg)	350
炭酸窒素比	7

高いという結果が出ました。(別表2参照)

生ごみ処理が重要 ご協力ください

ごみの減量を図るためには水分を多く含む生ごみの処理が重要です。これからは生ごみの水切りや、コンポスト容器などを使つた肥化などに協力をお願いします。

町では、生ごみ処理機の購入に対する助成などを実施しています。ごみの分別や資源化をさらに推進し、ごみの減量化を図るため、今後とも家庭などのごみ減量にご理解とご協力をお願いします。



ごみの減量に今後ともご協力願います!



←華麗な踊りを
みせた軽米ソー
ラン愛好会



笛と太鼓の音
にあわせ練り
歩く太神楽→



←元気な掛け
声が響き渡っ
た駒踊り



息の合った舞を
みせた虎舞→



←雨天にも関わ
らず多くの観客
で賑わいました



- 1、本町新栄団。鮮やかな浴衣姿で横笛を吹く小中学生
- 2、蓮台野美容団。息のあった太鼓と掛け声で盛り上げました
- 3、新町大正団。観客の目を引く高さ約7mの大きな山車
- 4、上新町。ねじりはちまきで元気なパチさばきをみせました
- 5、大町協誠団。金棒を持った女の子たちが先頭を歩きました
- 6、荒町光栄団。威勢のいい掛け声が響き渡りました



1



3



2



秋まつり

9/17 ~ 9/19



軽米の秋の風物詩「軽米秋まつり」が、9月17日から19日まで町中心街で開催されました。みこし行列と山車が練り歩いた初日と最終日。あいにくの雨で中日の流し踊りは中止となったものの、沿道には多くの観客が集まり、伝統の秋まつりを見守りました。

祭月初日の17日、午後1時から軽米八幡宮にて例大祭が開催されました。そして、3時ののろしの合図とともに、伝統の行列が八幡宮前を出発。猿田彦命像を先頭にみこし・稚児行列、5つの郷土芸能団体と6台の山車による約1kmの大行列が、ゆつくりとしたペースでお飯屋（門前）までの2kmを練り歩きました。また最後尾では、軽米ソーラン愛好会（日向日出男代表）による演舞が披露され、祭りを盛り上げました。

沿道に訪れた観客は、浴衣や半でん姿で化粧をして着飾った友だちに、手を振ったり声をかけたりしながら楽しく観覧していました。

※秋まつりの様子は10月後半に「かるまいテレビ」で放送する予定です。お楽しみに！

元自衛隊員に叙勲

松原さん・若山さん

春の叙勲で、元自衛隊1等陸尉の松原^{かずお}雄さん（下尾田、61歳）に瑞宝^{みづはろ}双光章、元准陸尉の若山^{わかやま}節雄さん（仲町、61歳）に瑞宝^{みづはろ}単光章が贈られました。



長年の功績が讃えられ叙勲を受章した松原さん（左から2人目）と若山さん（中央）

二人は8月1日に八戸駐屯地で行われた叙勲伝達式に出席。所属していた第5高射特科群の群長から叙勲の伝達を受けた。

松原さんは、昭和43年3月に陸上自衛隊に入隊し平成16年3月まで、若山さんは昭和43年4月に入隊し平成16年4月に退職しました。36年の長きに渡る功績が讃えられ、このたび叙勲が贈られました。

また春の褒章では、ホップ農家の大内蔵久さん（観音林東、58歳）に、黄綬褒章が贈られました。



上山遥香さん（晴山小6年） 800mで二戸地区大会新記録 S & Bちびっ子マラソン優勝

上山 遥香^{はるか}さん
（晴山小6年）

☆二戸地区陸上競技会
6年女子 800m
優勝 記録 2分 32秒 35
（新記録）

☆S & Bちびっ子健康マラソン
6年女子 3000m
優勝 記録 11分 11秒

二戸地区小学生陸上競技大会が9月14日に一戸町総合運動公園陸上競技場で開催され、800メートル女子の部に出場した上山遥香さん（晴山小6年）が、見事大会新記録で優勝しました。上山さんは「いつも通りの走りでした。リラックスして走れてよかった」と話していました。

また9月25日に盛岡市の県営運動公園陸上競技場で開催されたS & Bちびっこマラソン大会では、6年生女子3000mに出場し見事優勝を果たしました。記録は11分11秒。いつも家の近くの道路で練習を重ねているという上山さんは「11分30秒を切れるようにと練習してきた。次は11分を切るように頑張りたい」と次の目標に向けて気持ちを新たにしていました。

平成23年9月11日執行 岩手県知事選挙の得票結果 （敬称略）

岩手県知事と岩手県議会議員選挙が9月11日に行われました。県知事には達増拓也氏が再選し、県議会九戸選挙区では無投票で工藤大輔氏が四選を果たしました。町内24カ所で行われた町の投票率は、県知事選挙48.53%（前回76.95%）でした。

	候補者氏名	町内得票数	全体得票数
当選	達増拓也	2,864	438,975
次点	高橋博之	1,118	163,397
	鈴木露道	219	25,240
	芦名鉄雄	57	15,567

■軽米町の投票率など		
有権者数	8,824人	投票者数 4,282人
有効投票	4,258票	無効投票 24票
全体投票率	48.53%	

花いっぱいコンクール 高柳・花の会 8年連続の最優秀賞

学校は軽米中、家庭は田村さん

第23回花いっぱいビューティ軽米推進コンクールの審査会が、8月30日に行われました。同コンクールには、地域、学校、家庭花壇の3部門に21組が応募。地域花壇の部では高柳・花の会（細谷地司代表）が8年連続、学校花壇の部では軽米中学校が2年連続、家庭花壇の部では田村一夫さん（向川原）が最優秀賞に輝きました。

同コンクールの表彰式は、フラワールレンジメント講習会と合わせて開催される予定です。結果は左表のとおりです。

Interview



高柳・花の会代表
細谷地司さん

みんなで楽しくやるのが一番
5月の初めくらいに地区の人を集めて今年のデザインを考えました。子どもたちから老人クラブのお年寄りまでみんなの協力があったのが最優秀賞です。賞はもらえるにこしたことはありませんが、それ以上にみんなで集まって楽しみながらやるのが一番じゃないかなと思っています。花による地域づくりを楽しみながらやっています。

第1回町小学校駅伝大会 女子は晴山、男子は軽米

第1回町小学校駅伝大会（町小学校体育連盟）が9月22日、ハートフルスポーツランド特設コースで開催されました。町内の4小学校から女子11チーム、男子13チームが出場。1周約1.5kmのコースを1チーム4人でたすきをつなぎました。女子の部では、全体で2位のタイムを出した晴山小の第1走者、上山礼香さん（4年）からのたすきを最後まで1位でつなぎ通した

駅伝大会上位結果（敬称略）

【女子】①晴山A ②軽米A ③小軽米A（個人賞）①上山遥香（晴山小6年）②上山礼香（同 4年）③松山春風（小軽米小5年）

【男子】①軽米A ②小軽米A ③晴山A（個人賞）①池端正哉（晴山小6年）②沢田涼将（小軽米小6年）③一條豊樹（笹渡小6年）

晴山小が、2位に1分47秒の大差をつけて優勝。手に汗にぎる接戦となった男子の部では、軽米小学校が逃げ切り優勝を果たしました。

- ◆地域花壇の部
【最優秀賞】高柳・花の会（8年連続）
【優秀賞】鶴飼部落常会
【優良賞】沢田公民館環境部、小玉川・フラワー広場、笹渡・花の会「がんばれ岩手」、東・花の会、長倉・花の道、小玉川・フラワーロード
【奨励賞】下円子老人クラブ花壇、向高家老人クラブ花壇、西里花づくりサークル、町社会福祉協議会・ふくし花壇
- ◆学校花壇の部
【最優秀賞】軽米中学校・学校花壇（2年連続）
【優秀賞】笹渡小中学校・ササズガーデン
【優良賞】小軽米小学校・さわやか花壇、小軽米中学校・スマイル
【奨励賞】晴中福祉花壇・晴中花壇
- ◆家庭花壇の部
【最優秀賞】ユートピア（田村一夫、向川原）
【優秀賞】家庭花壇（山崎孝太郎、鶴飼）
【優良賞】家庭花壇（細谷地キエ、高柳）
自己満足（橋本邦子、上館）
※最優秀賞の花壇写真を裏表紙に掲載しています



緊張のスタートを切る女子の部の第1走者

軽米小学校が逃げ切り優勝を果たしました。本年度から開催されました。オーブン参加を含めた112人の選手は、他の児童や先生などからの応援を背に最後まであきらめずに走りきりました。



トイレ周りの草取りに汗を流した5年生

地元の施設をきれいに

ミル・みるハウス清掃活動

晴山小学校の児童は9月29日、ミル・みるハウス周辺の清掃活動や草取りを行いました。活動にあたり5年生の本田真成さんが「地域の人や観光客のの人たちが気持ちよく使えるようにきれいにしましょう」とあいさつ。児童たちは学年ごとに分かれ、1年生はゴミ拾い、3年生は草取り、5年生はトイレ掃除とトイレ周りの草取りを行いました。

この活動は地域の施設をきれいにしながらボランティアに関心を持ってもらおうと行われています。

学校協の遺跡に興味津々

軽米小で大開遺跡見学会

軽米小学校の児童は8月29日と30日、同校の新校舎建設に伴い調査が進められていた大開遺跡を見学しました。同校体育館の西側に位置するこの遺跡からは、縄文時代の竪穴住居跡1棟、平安時代の竪穴住居跡4棟のほか土器や鉄器などが発見されました。町教育委員会の担当者から説明を受けた児童たちは、昔の人の生活を想像しながら、興味深く見学。土佐雛子さんは「昔の人のうちが学校の近くにあったびっくりした」と目を輝かせていました。



小学校の体育館脇の遺跡に興味深く見学する児童



紙芝居を使って人権について分かりやすく伝えました

優しい心でみんな仲良く

晴山小学校で人権教室

町の人権擁護委員や法務局などによる人権教室が、9月28日に晴山小学校（圃田清和校長、児童101人）の4年生を対象に開催されました。

児童たちは、菅波俊美委員から人権の意味について話を聞き、また委員や法務局職員、役場職員による紙芝居を見て人権の大切さを学びました。児童たちは「うそやいじめはだめだと思った」「優しい心でみんなと仲良くしていきたい」などと話し、人権への理解を深めていました。

軽米の食材でおいしい給食

オール軽米産給食会

軽米産の食材のみを使った学校給食が、9月2日に町内の小中学校に提供されました。笹渡小学校では、生産者や農業関係者などを招いての給食交流会を開催。ハウレンソウ生産者の山崎とし子さん（鶴飼）と新しいわて農協の大村錦一さんから、野菜の栽培や出荷に関する話を聞きながら、純和鶏のレモンづけやいんげんのみそ炒めなどをおいしく味わいました。高柳里佳子さん（4年）は「とってもおいしかった。また食べたい」と笑顔を見せていました。



軽米産の食材のみを使った給食を味わう笹渡小学校の児童

昭和60年10月31日姉妹提携

音更町だより

小麦の収穫感謝祭「麦感祭」が町内のたけなかファームで開かれ、約150人が参加しました。収穫されたばかりの小麦を使ったパンや焼きたてのピザなどが振る舞われたほか、麦稈ロールころがしや書道パフォーマンスなどの催しが行われました。



獲れたての小麦を使った料理を味わった参加者たち

自分の考え堂々と述べる

わたしの主張二戸地区大会

わたしの主張二戸地区大会（同実行委員会主催）が9月7日、軽米中学校体育館で開催されました。二戸地区の中学生14人（町内からは5人）が参加。参加した生徒たちは、自分の経験から感じたことや、夢、クラブ活動のことなどについて、自分の考えを堂々と述べました。審査の結果、最優秀賞には一戸中学校の古館航太君、町内からは優秀賞に鶴飼智騎君（笹渡中）、優良賞に木田茉佑さん（小軽米中）が選ばれました。



誰かのために行動することの大切さを訴えた鶴飼君



メーターを見ながら灯油の給油作業を行う並岡君

真心こめた対応心がける

晴山中キャリアスタートウイーク

晴山中学校の2年生は9月1日、2日にキャリアスタートウイークを実施しました。生徒たちは町内の13の事業所などに分かれ、自分の興味のある仕事を体験。羽柴畜産軽米東給油所では、田端雅人君と並岡駿斗君がガソリンや灯油の給油やオイル交換、タイヤ交換などの作業を体験。二人は「お客さんを大切にしなければならない仕事なので、元気にあいさつすることと優しく接することが大事だった」と話していました。

炭を焼いて炭を知る

軽米小で炭焼き体験

軽米小学校の3年生は9月8日と15日、フォリストパーク・軽米で炭焼き体験学習を行いました。町内の木炭生産者有志で組織する「白煙会」から、炭の歴史や使い方などについて説明を聞いた後は、炭のもとになる木を作る作業を体験。のこぎりや機械を上手に使い同じ大きさに切っていきます。炭窯に入れ、1週間後の15日には完成した炭を観察。まつぼっくりなどを使った飾り炭作りも行い、児童たちは炭の知識を深めました。



みんなで協力して次々と木を切っていました

夢・希望・えんぴつ



小軽米小学校5年
ま
り
小林 茉莉 さん
(河北)

「豊かな言葉の使い手」を考えたとき、真っ先にうかんだのが介護士だった。なぜなら、相手に分りやすく伝えるし、元気になるようにやさしい言葉を選んで使っていると思うからだ。

「豊かな言葉の使い手」になるために

いくことが大切だ。また、仕事の手際をよくすること、どんなにいそがしくてもお年寄りとかくさん話すことを心がけていることが分かった。

つまり、言葉の豊かさとは、愛情をもち、笑顔で人とせつしながら言葉を選んで使う。そして、積極的に話すことだ。私も「豊かな言葉の使い手」になるために、積極的に発言したい。それと相手が元気になるようなやさしい言葉をかけられる人になりたい。日々努力していこうと思う。



ヤマト運輸軽米センター
(軽米町大字上館15-125-3)

軽米は離れられないところ

ヤマト運輸軽米センターで働く大島奈津美さん。軽米高校を卒業後に八戸市のホテルへ就職し、今年の2月から軽米で働いています。

Q、今の仕事を選んだ理由は？
地元で働きたいと思っていたのが一番の理由です。

Q、仕事はとてですか？
まだまだ分からないことだらけですが、近所の方や同級生のお母さんたち、おじいちゃんやおばあちゃんたちといろいろ話ができる仕事です。地元で働くことができてホントよかったです。



なつみ
大島 奈津美 さん
(22歳、向川原)
身長161cm、O型
ヤマト運輸軽米センター勤務

Q、自分の性格を一言で言うとしたら、マイペースで大きっぱ。明るいう方だと思います！

Q、趣味や休日にやることは？
休日はよく買い物に行きます。あとは友達と気が済むまでガールズトークをするのが好きです！

Q、あなたの夢は？
早く親孝行したいですね。あとできれば20代で結婚したいです！！

Q、町をどう思いますか？
他の所に比べたら何も無いかもしれないけど、離れられないところなんです。自然いっぱい、空気もよくて、たぶん一生軽米にいますね(笑)。このままでいいと思います。

▼好きなスポーツ：バレーボール
▼好きな色：くろ、あお
▼好きな花：ヒマワリ
▼好きな食べ物：和食
▼好きな映画：ONE PIECE
▼今の悩み：いろいろ
▼理想の異性のタイプ：包容力があって男らしい人がタイプです。年上で一緒にいて楽しい人がいいかな！

☆当コーナーでは、町在住、または町で働く若者を紹介しています

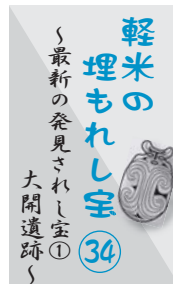
今回は町教育委員会が今年の6月から進めている軽米小学校校舎建設予定地の発掘調査について、その成果の一部をご紹介します。

現在の軽米小学校体育館西の丘陵にある「大開遺跡」では、平安時代の竪穴住居跡4棟と縄文時代末・弥生時代初期の竪穴住居跡1棟などが見つかっており、古代の集落跡であることが分かりました。

中でも2号住居跡のカマドから煙を外に出す煙道に設置された、土師器(古代の土器)の甕を5個以上繋ぐ排煙装置は非常に珍しいもので、近隣でも例がありません。

出土遺物では、古代の土師器や鉄器のほか、琥珀の欠片も出土しました。前号でご紹介した縄文時代に引き続き、古代でも琥珀の交易が盛んだったことが窺えます。

また、今回の調査では大変可愛らしい顔立ちをした動物の土製品が出土しました(写真)。大きな耳と突き出た口の表現から、「イ



大開遺跡出土の甕面突起
(軽米町教育委員会蔵)

又「あるいは「クマ」と考えています。体は分かりませんが、これは縄文系土器の口縁の上に突起状に付けられていたものです。弥生時代の初めの頃にはクマに対する信仰が盛んになったようで、東北から北海道にかけてクマ形の土製品が多くみられるようになりますので、関連する可能性も考えられます。

さて、町や県では、開発行為により失われる遺跡の発掘調査を通して記録し、歴史の一端を明らかにして後世へ伝えるいきます。

軽米町は遺跡の宝庫です。今後「埋もれし宝」が新たに発見されることも期待されますので、これからも貴重な遺跡・遺物の保護にご協力ください。

(教育委員会学芸員 藤田直行)

今月の俳句

(北光吟社 8月例会句会)

元気ですと暑中見舞の届けきり
丹下美恵子

こぶし山一挙にあがる花火かな
川島由蔵

立秋を知るがごとく虫の声
中田紀子

朝顔の色とりどりの狭庭かな
中野とき

鮮やかな赤境内のさるすべり
川崎郁子

夏草やガードレールをかくしけり
千葉紅園

けふは来ぬ週末客や芋の秋
早川慶子

鈴虫の家の中ひびく昼寝かな
三上千栄女

雑穀の星の涼しさもてなしに
松村英子

※町文化協会「北光吟社」の例会より俳句を紹介しています

生活安全の森

二戸警察署軽米駐在所 (☎46-2004)

～反射材の活用とライトの早め点灯を～

《反射材を活用しましょう》

○夕暮れ時は、日没によって周囲が見えにくくなる時間帯と帰宅や買物で交通量が増加する時間帯が一致するために交通事故が増加します。

○特に歩いて外出することが多い高齢者にとって、夕暮れ時は最も危険な時間帯です。

○反射材は、車のライトを反射して、離れた位置からでも歩行者や自転車の存在をドライバーに知らせることができます。周囲が見えにくくなる夕暮れ時には、相手に自分の存在をアピールできる反射材を活用して交通事故防止に努めましょう。

《ライトの早め点灯を励行しましょう》

○周囲が暗くなっても「まだ見えるから大丈夫」と油断しライトをつけないで走行すると、歩行者や自転車の発見が遅れてしまい危険です。

○ライトの早め点灯は自分の進行方向を照らすだけでなく、歩行者や他のドライバーに自分の存在を知らせることに也有利于です。

○夜間の運転者の視界はライトの照射範囲に限られます。対向車や前方の車両が無い時にはライトをハイビームにして、視界を広く確保しましょう。

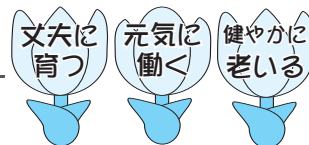
8月の事故と救急の数字

▶町内の交通事故、救急車出動回数

	当月	累計	昨年比
人身事故	3件	11件	+8
死亡者	0人	0人	±0
負傷者	3人	11人	+7
物損事故	7件	80件	-9
救急車出動回数	37回	250回	+11

※(累計)は1月からの合計
※見直しにより前月の数値と異なる場合があります

▶今月の飲酒運転検挙者はありません



健康福祉課 (☎46-4111)

インフルエンザ対策 ～予防接種のすすめ～



健康福祉課
保健師長
中里 早苗

毎年、冬の空気が乾燥した季節に流行する「インフルエンザ」。ウイルスの感染により発症し、高熱や関節痛などの全身症状が突然現れ、肺炎や脳症などの重い合併症を起こすことがあります。高齢者や抵抗力の弱っている人は生命の危機にかかわることもある病気です。

予防対策としては、感染に負けない体づくりが基本ですが、次に、予防接種をお勧めします。予防接種は、感染拡大を防ぐとともに、

に、感染しても軽症で済むことが多いと言えます。インフルエンザは毎年流行するウイルスが異なり、また予防接種の効果も長期間持続することは期待しにくいので、毎年接種する必要があります。

毎年10月から行う予防接種では、今年度も65歳以上の方と生後6か月から中学生までの方に1回目の接種に2,000円の公費負担があります。補助対象の方だけに限らず、自分の健康管理のために接種をお勧めします。

さるなしドリンク 20%果汁 好評発売中



(問) 軽米町産業開発(TEL46-4222)

ミル・みるハウスのおすすめメニュー

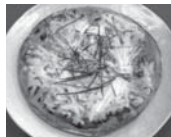
とりてん丼 380円

(問) ミル・みるハウス(TEL47-1030)

B級グルメ誕生か？

ダッタンそば粉入り

「そばかけピザ」



配達します！
お土産用あります！

雑穀弁当・仕出し・宴会

食事処 内まる屋 (TEL46-2318)

見さんの18番

※広報かるまいでは、町内の業者などからの広告を掲載しています

軽米病院だより

岩手県立軽米病院 (☎46-2411)

プライバシーを守りましょう

われわれ病院職員には、守秘義務があります。業務上知り得た患者さんの情報については、外に漏らしてはいけません。それは、病院で働き始めた最初の時期に教育されます。患者さんの立場から見ても、自分の病気について他人に知られるのは嫌なことです。以前軽米病院では、病室の入り口に患者さんの名札がありましたがなくなりました。外来でも、名前ではなく番号で呼ぶ病院も増えています。いずれもプライバシー保護のためです。

ところが、病院の待合室での患者さん同士の会話を聞いていると「あんだどごが悪くてきたのすか？」など、とてもプライバシーが守ら

れているとはいえません。病棟でも、顔見知りの患者を見かけると「いづから入院してるのすか？」「どごが悪いのすか？」という場面がよく見られます。

軽米では、若い人は八戸や二戸の病院に通い、70歳を過ぎて通院が大変になると地元に戻ってくる傾向があります。若い人が地元の病院を利用する際の大きな障害がプライバシーの問題と考えています。

病院は、体調が悪いときに人知れずに来て病気を治すところです。病院を利用される方は、他の患者さんの病気についてあまり詮索しないでいただきたいと思います。

院長 横島孝雄

図書館だより

町立図書館 (☎46-4333)

－ 今月の新刊 －

【児童書】

コウモリとしゃかんへいく

作・絵/ブライアン・リーズ 訳/さいごうようこ



(徳間書店)

「今夜は窓が開いてるよ！」、大喜びで図書館へ飛び込んだコウモリたちは、お気に入りの本に夢中になって…。絵の中に、児童書の名場面がひそんでいます。

米村でんじろうのイッキによめる！

おもしろ科学 小学3年生



(講談社)

著/米村でんじろう
でんじろう先生が、身近な科学の疑問におもしろ実験を交えながら答えます。実験まんがやコラムも収録。シリーズで小学1年生、2年生もあります。

【一般書】

教科書に載せたい偉人の息子



(T.O.ブックス)

著/偉人の息子研究会
偉人達の2世は苦勞知らずな人生だと思われがちだが、壮絶な苦勞や重圧があった…。偉人たちの子育てと、その子供の多種多様な人生を紹介する。

文明を変えた植物たち コロンブスが遺した種子



(NHK出版)

著/酒井伸雄
コロンブスが大西洋航路を発見したことをきっかけに、ヨーロッパ大陸に伝来した6種類の植物。小さな種子たちが現代の社会や文化を築いてきた歴史をひもとく。

10月 October

16	日	食フェスタinかるまい【町中心街】
17	月	
18	火	ポリオ予防接種【ふ】13:30～14:00受付 ふれあい共食事業【向川原自治公民館】10:00～13:30
19	水	ふれあい共食事業【公】10:00～13:30
20	木	
21	金	生活習慣病教室【ふ】13:00～
22	土	図書館ひろば【図】10:00～
23	日	
24	月	
25	火	ポリオ予防接種【ふ】13:30～14:00受付 転倒予防セミナー 川の流れと共に歩きましょう会【図】13:30～
26	水	1歳児健診【ふ】13:00～13:30受付 ピヨピヨ教室【青少年ホーム】10:00～12:00
27	木	うまっこ教室【ふ】9:30～12:00
28	金	ポリオ予防接種【ふ】13:30～14:00受付
29	土	
30	日	第32回町民文化祭 幼児絵本感想画展・小中学校書写絵画作品展 【図】9:00～（～11月6日） 開幕式典【公】13:00～ ステージ発表【公】13:30～ 寿大学⑧【公】13:00～ 夜間・休日の納税相談【役場税務会計課】（～1日） 町税の納期（町県民税3期、国民健康保険税4期）
31	月	

11月 November

1	火	
2	水	乳児健診【ふ】13:00～13:30受付 【文化の日】
3	木	第28回グリーンデー【ハ】9:30～ 第32回町民文化祭・展示部門【公】9:00～（～6日） ふれあい共食事業【増子内農村振興会館】10:00～13:30
4	金	
5	土	
6	日	
7	月	
8	火	うつ病について正しく知ろう【公】13:30～15:30 ふれあい共食事業【上門子自治公民館】10:00～13:30
9	水	ピヨピヨ教室【青少年ホーム】10:00～12:00 ふれあい共食事業【小玉川生活改善センター】10:00～13:30
10	木	
11	金	はつらつ教室（認知・うつ・閉じこもり予防） 【小軽米生活改善センター】13:30～
12	土	
13	日	
14	月	はつらつ運動推進員フォローアップ研修会
15	火	ふれあい共食事業【下新町自治公民館】10:00～13:30

（カレンダー中の【 】は開催場所下記のとおり表示します）
 体:町民体育館 環:農村環境改善センター 公:中央公民館
 図:町立図書館 病:県立軽米病院 ふ:健康ふれあいセンター
 老:老人福祉センター プ:雪谷川ダムファリスパーク・軽米
 ミ:ミレットパーク 歴:歴史民俗資料館 ハ:ハートフル・ス
 ポーツランド 運:町営運動場 ゲ:ゲートボール場

スナップ写真館

町敬老会
（9月17日、町民体育館）



きれいなスカーフにお
ばあちゃんもにっこり

お知らせ 情報 Information

町の保健師を再募集します

- 採用職種と予定人員：保健師…若干名
- 受験資格：昭和57年4月2日以降に生まれた方で、保健師の資格を有する方、または平成24年3月31日までに取得見込みの方
- 受付期間：平成23年10月3日(月)から10月31日(月)の午前8時30分から午後5時30分まで（土曜、日曜、祝祭日を除く）
※郵送の場合も10月31日午後5時30分必着
- 第1次試験
 - ・日時…平成23年12月4日(日) 午前9時受付開始
 - ・会場…町農村環境改善センター（役場隣）2階会議室
- 試験内容
 - ・1次…筆記（教養・専門・作文など）・2次…面接
- 合格から採用まで
 - ・採用候補者名簿搭載者全員が採用されるとは限りません。
 - ・資格取得見込みの方が資格を取得できなかった場合、もしくは採用されるまでの期間に公務員としてふさわしくない行動があった場合は、採用を取り消します。

【申し込み・問い合わせ先】
軽米町役場総務課総務グループ（☎46-2111）

内科(9:00～17:00) 休日当番医 歯科(9:00～12:00)

いちのへ内科クリニック （☎33-2701）	一戸町 高善寺	10月16日（日）	菅原歯科クリニック （☎23-1180）	二戸市 福 岡
管整整形外科皮膚科クリ ニック （☎23-7311）	二戸市 石切所	23日（日）	ほんだ歯科クリニック （☎23-9591）	二戸市 石切所
小原内科医院 （☎23-3410）	二戸市 石切所	30日（日）	関歯科医院 （☎38-2937）	二戸市 浄法寺
むらかみ医院いたみのクリ ニック （☎48-1500）	軽米町 岩 崎	11月3日（木）	沢藤歯科医院 （☎25-4002）	二戸市 堀 野
二戸クリニック （☎25-5770）	二戸市 石切所	6日（日）	阿部歯科クリニック （☎25-4182）	二戸市 福 岡
すがわら消化器内科 （☎23-2879）	二戸市 福 岡	13日（日）	国香歯科医院（裏小路） （☎23-2223）	二戸市 福 岡

※休日当番医は、かるまいテレビのデータ放送でもご覧いただけます



健康福祉課の職員の動きに合わせ
元気に転倒予防体操



出席者を代表して謝辞を述べた
久保勝治さん



乙坂しのぶさんらによる歌謡ショー
に会場は盛り上がりました

二戸消費生活センター 消費生活相談のご案内

平成23年11月の相談日は次のとおりです。電話でご予約のうえお越しください。
 ◎法律相談
 11月8日（火）、22日（火）
 ◎お金と暮らし相談
 11月11日（金）
 ◎多重債務相談
 11月15日（火）
 ※場所：二戸消費生活センター（二戸地区合同庁舎内）
 【申し込み・問い合わせ先】二戸消費生活センター（☎23-5800）

岩手県民の森 10月の行事予定

◎秋の七滝観察会
 ▶開催日：10月19日（水）
 ▶内容：往復3時間の七滝トレッキング、日帰り温泉など
 ▶参加料：2,500円
 ◎森林手入れ講習会
 ▶開催日：10月23日（日）
 ▶内容：NPO法人いわて森林再生研究会から掛かり木の外し方、滑車など補助具の使い方の実技を学ぶ
 ▶参加料：1,000円
 ※詳しくは、下記までお問い合わせください。
 【申し込み・問い合わせ先】森林ふれあい学習館フォレス

ト i（☎0195-78-2092）

二戸地区広域行政 事務組合で定例会

二戸地区広域行政事務組合の10月定例会（議会）が開会されます。暮らしに身近な消防、介護保険、し尿処理、ごみ処理などの共同処理事業について質疑が行われます。お気軽に傍聴してください。
 ▶日時：10月26日（水）予定
 ▶場所：二戸地区広域行政事務組合会議室
 【問い合わせ先】二戸地区広域行政事務組合事務局（☎23-7772）

カシオペア安全安心 ちびっこまつりを開催

二戸地区防犯協会連合会と二戸警察署では「カシオペア安全安心ちびっこまつり」を開催します。「近未来警察カシオペア」の寸劇による防犯教室や、岩手県警察音楽隊による演奏と交通安全教室、白バイ・パトカーの展示もします。
 ▶日時：10月18日（火）
 午前10時から正午
 ▶場所：二戸市民文化会館
 ▶参加料：無料
 【問い合わせ先】二戸地区防犯協会連合会事務局（☎29-0110）

特大キノコを発見！



顔の何倍もあろうかという大きなハナピラタケを手にする川口さん

蛇口地区の川口ヨシノさんは9月29日、栗拾いに行った近くの山で直径40センチもある大きなハナピラタケを発見しました。「最初はハチの巣かと思った。こんなに大きなキノコは見たことがなかったのでびっくり」と驚きの表情を見せていました。

カシオペア合唱祭 11月13日に開催

第19回カシオペア連邦合唱祭を開催します。お気軽にご来場ください。
 ▶日時：11月13日（日）
 13:30開演
 ▶場所：二戸市民文化会館
 ▶内容：

- ・オープニング「ちやいるどスクルール 園児、ちやいるど卒園児童」
- ・「カシオペア連邦内合唱団の演奏と児童生徒の演奏
- ・第2部「合唱団と出演希望校の演奏」
- ・フィナーレ「全員で合同合唱」

 ▶入場料：500円（中学生以下無料）
 ▶出演団体：連邦内の合唱団（町からは軽米童謡を歌う会）、中小高生など
 【問い合わせ先】カシオペア連邦合唱連名事務局（☎27-2389）

～選べる支払方法～

- ・各種クレジットカード可
- ・葬儀ローン分割払い可（※金融機関の審査あり）

※葬儀費用の積立て、『玉姫グループ互助会』会員募集中!!

玉姫グループ 軽米セレモニーホール 眞照堂
 葬儀専門会館 TEL46-4109 軽米町大字上館15-130-1

- ・霊安室、宿泊室完備
- ・100台の大型駐車場完備
- ・自宅片づけ・手伝い不要



※広報かるまいでは、町内の業者などの広告を掲載しています

好評発売中
 軽米町産さるなし100%使用
さるなしの雫
 （甘口、リキュール）
 500ml ¥1,260（税込み）
 販売元・お問い合わせ
 リカー&フーズこばやし(Tel.46-2059)

★癒しのスペシャリストを目指しませんか★
ケアリンバ講座 無料体験&説明会
 日時：毎月2回
 場所：二戸市（ワークイン二戸）
 九戸村（九戸村山村開発センター）
 資格：20歳以上の女性
 ☆参加費無料・随時申込受付中です！
 お気軽に電話ください！
 【申し込み・問い合わせ】公認講師 田端瞳（携帯090-7062-1890）



待たのお仕事に！趣味や家族の健康管理に！



冠婚葬祭 8月届出分 ＜敬称略＞

おめでた () 内は父母の名

向川原 木 村 博 翔 (博文・優美)

大 町 竹 花 杏 (大輔・真由美)

下門子組 泉 山 雅 仁 (桂一・恵)

高清水 下 岩 和 香 那 (弘樹・愛子)

おしあわせに

君成田 恭 兵 (下新町)
田 畑 あやか (門 前)

尾田川 俊 幸 (上尾田)
馬 場 望 咲 (二戸市)

おくやみ () 内は享年

平 平 澄 芳 (62歳)

桜 山 日 山 ト セ (86歳)

上谷地渡 並 岡 樹 子 (52歳)

本 町 小 館 て い (78歳)

大清水 小笠原 ト ミ (79歳)

高 家 上 澤 か の (81歳)

下河南 玉 田 夏 子 (61歳)

新井田 川 崎 イ ネ (86歳)

松ノ脇 近 藤 竹 (92歳)

上野場 福 田 松三郎 (93歳)

百 目 金 萬 谷 秀 清 (68歳)

※お名前が俗字であっても正字で記載される
場合がありますので、ご了承ください。

●人の動き ＜平成23年8月31日現在／町民生活課調べ＞

男 5,164人(+4) / 女 5,345人(-3)

合計 10,509人(+1) / 世帯数 3,766(+4)
※() は前月比

転入 24人(148人) / 転出 16人(190人)

出生 7人(36人) / 死亡 14人(100人)
※() は1月からの累計

花 いっぱいコンクール最優秀作品

地域花壇の部



「高柳・花の会」

学校花壇の部



「軽米中学校」

家庭花壇の部



「田村一夫さん(向川原)」
写真右は奥さんのせつさん

ほ っ と ひ と い き / 編 集 後 記

台 風の影響で軽米でも大きな被害が出ました。災害への備えについて特集しましたが、災害は、いつどこでどのような形で起こるか分かりません。災害を防ぐことは難しくても、被害を抑えることはできます。一人ひとりそして地域で災害について考えていただければと思います。

カ メラにビニール袋で作った防水カバーをつけ、カップを着て臨んだ秋祭り。カップを着ると予想以上に暑く、役場から仲町まで歩いたところで脱ぎ捨て、撮影を開始(汗)カメラに熱い視線を送ってくれた皆さんありがとうございました。写真が欲しい方は一声かけてください！(山下)